

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	戦略的広報推進事業			事業番号	001-004
担当部署名	市長公室	局	広報戦略	部	広報戦略推進
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(2) 市政への信頼獲得、ブランド力の向上に向けた戦略的広報の展開	
			有	取組の方向性	③公民連携推進に向けたシティプロモーションの強化			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
			無	取組	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 23 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市広報戦略			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、市外在住の方	対象数	単位	
			-	-	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市の施策や魅力を効果的に発信し、市政への信頼獲得、ブランド力の向上など、堺のプレゼンスを高める。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	「堺市広報戦略」に基づく「戦略的広報実践マニュアル」に従い、研修を通じた全庁への戦略的な広報の考え方・進め方の浸透や各部局が実施する広報活動のサポート、媒体とコンテンツ（施策・事業）の全体最適化を図り、年間を通した一連の相談業務を通じた広報業務を計画的に進め、施策や市政に関わる情報を効果的に発信する。 さいとう・たかを氏の作品を活用し堺の魅力発信と来訪者の増加を図るため、さいとう・たかを氏や作品に関する「展示」や、市内の周遊を促す「謎解き」、作品とコラボレーションした「ゴルゴBar」などのイベントを実施する。 Instagramを活用し、市の魅力を発信する。			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	「さいとう・たかを」映画の世界」堺実行委員会			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				目標値	実績値	達成率	
11	広報活動をサポートした各部局の重点取組事業の数値目標の達成件数	件	目標値	35	40	45	50
	実績値		35	41			
	達成率		100%	103%			
	当該指標を選定した理由	堺市広報戦略の目標は、各部局の施策や事業の成果に対して広報機能として貢献し、市政に対する信頼獲得やブランド力の向上など堺市のプレゼンスを高めることであり、そのためには各部局の重点取組事業の数値目標を達成させることが指標となるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	活動指標に掲げる広報活動のサポートを通じて各部局が重点取組事業の数値目標を達成できるよう、段階的に成果を上げていく。 ※重点取組事業の件数については、毎年度50件程度を想定。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	各部局の事業にかかる広報活動のサポート件数	件	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			目標値	60	65	70	
			実績値	72	78		
			達成率	120%	120%		
当該指標を選定した理由	成果指標を達成するためには、相談窓口での助言等を通じて各部局の広報活動をサポートし、戦略的広報の考え方や進め方を浸透・定着させる必要があるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	サポート実績を基に目標値を設定。サポート業務を継続実施することで戦略的広報や相談窓口が浸透することを見込み、段階的に上がる目標値を設定。						

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	戦略的広報推進事業	事業番号	001-004
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費 (a)	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	14,361	15,074	21,537	16,244	19,830
財源					
国支出金			0	0	0
府支出金			0	0	0
市債			0	0	0
その他 ()			0	0	0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0	0	0
一般財源	14,361	15,074	21,537	16,244	19,830
人件費 (b)	44,300	44,600	44,100	44,100	44,100
年間経費(c)=(a)+(b)	58,661	59,674	65,637	60,344	63,930

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項 目		年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
			R5	決算	1,531	1,531		R5	決算	281	281
16	広報戦略に基づく発信強化業務	R6	予算	2,069	2,069	2,069	その他	R6	予算	910	910
		R5	決算	1,550	1,550	1,550		R5	決算		
	写真等を活用した魅力発信事業	R6	予算	2,889	2,889	2,889		R6	予算		
		R5	決算	12,300	12,300	12,300		R5	決算		
	さいとう・たかを作品を活用した魅力発信事業	R6	予算	12,300	12,300	12,300		R6	予算		
		R5	決算	326	326	326		R5	決算		
	堺名誉大使・堺親善大使・堺親善アーティスト事業	R6	予算	1,142	1,142	1,142		R6	予算		
		R5	決算	256	256	256		R5	決算		
	ハニワ部長活用事業	R6	予算	520	520	520		R6	予算		
		R5	決算					R5	決算		
		R6	予算					R6	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
	件	35	41
① 広報活動をサポートした各部局の事業のKPI達成件数	件	35	41
② 上記①にかかる年間経費	千円	3,280	6,480
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	93,714	158,049
備考 (算出についての説明等)	令和4年度まで本サポート業務は広報戦略部付け職員も従事していたが、令和5年度は当課職員のみで従事したため年間経費が増額した。		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	研修や相談窓口での助言・発信サポート等を通じて、戦略的広報の考え方や進め方の全庁的な浸透・定着に向け取り組んだため、各部局において重点取組事業等の数値目標を達成する件数が着実に増えている。（令和4年度達成件数：35件、令和5年度達成件数：41件）
18	さいとう・たかを作品を活用した魅力発信事業については、交通事業者等の民間企業の連携・協力により、イベントPRの広告コストを抑えつつ、謎解き等のコンテンツの内容もより気軽に参加できるよう見直しを行ったことで、イベント来場者数増加に繋がった。（令和5年度のイベント来場者数：約33,000人 昨年度比19.7%増加）

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	各部局の重点取組事業については相談窓口での助言や、広報戦略部の媒体をはじめ、メディアや民間企業等を活用した発信プロデュースを展開し、各部局の重点取組事業の数値目標を達成させることに寄与した。（令和4年度達成件数：35件、令和5年度達成件数：41件）
19	またさいとう・たかを作品を活用した魅力発信や、Instagramを活用した魅力発信等を通じて、市内外のステークホルダーに対しターゲットのニーズを踏まえた効果的なプロモーションを実施し、市政への信頼獲得やブランド力の向上を図ることで、事業目的である堺のプレゼンスを高めることに寄与した。